

殺虫剤

樹幹散布に適した処方！

農林水産省登録
第 23639 号

スフラサイド®M

農薬の種類: DMTP 乳剤
有効成分: DMTP...30.0%
性状: 淡黄色透明可乳化液体
毒性: 劇物
危険物: 第四類第二石油類-Ⅲ
包装: 10×10



®は登録商標

◆特長

- ✓ 多くの害虫に広く使用されている「スフラサイド」を特殊加工し、カミキリムシなどの樹幹害虫に特化した殺虫剤です。
- ✓ 効果の持続性や耐雨性が向上し、卵、幼虫、成虫の各時期に高い効果が確認されています。
- ✓ **クビアカツヤカミキリに適用拡大！**

◆適用害虫と使用方法

2019年5月15日 現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量 (10a当り)	使用時期	使用方法	総使用回数*	
						本剤	DMTP
樹木類	カイガラムシ類幼虫	1000 倍	200~700ℓ	発生初期	散布	5 回以内	5 回以内
みかん	ゴマダラカミキリ	50~100 倍	100~180ℓ	産卵時期	樹幹部に散布	2 回以内	4 回以内(50~100 倍希釈散布は 2 回以内)
ぶどう	ブドウトラカミキリ	200 倍		発芽前(休眠期)	樹幹部及び主枝に散布	1 回	2 回以内(休眠期は 1 回)
もも	クビアカツヤカミキリ			収穫 60 日前まで		2 回以内	4 回以内(200 倍希釈散布は 2 回以内、1500~2000 倍希釈散布は 2 回以内)
ネクタリン	コスカシバ	収穫後~発芽前		1 回		3 回以内(収穫後~発芽前は 1 回、発芽後は 2 回以内)	
りんご	ゴマダラカミキリ	100 倍	産卵時期但し、収穫 30 日前まで	樹幹部に散布	2 回以内	2 回以内	
桑	カミキリムシ類	50~100 倍	夏切直後		6 回以内	6 回以内	
	クワシロカイガラムシ幼虫	100 倍	脱ぼう前				
	クワヒメゾウムシ成虫 カミキリムシ類幼虫 クワシロカイガラムシ	50 倍					

*本剤及び有効成分(DMTP)を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

※樹木類/カイガラムシ類幼虫に使用する際は、1000 倍に希釈して散布してください。



ルビーロウムシ



ブドウトラカミキリ



コスカシバ



クビアカツヤカミキリ

加賀谷悦子氏
(森林総合研究所)提供

◆対象害虫と散布目安時期（地域や品種により異なりますので、初めてご使用の際は関係機関等の指導を受けて下さい。）

樹木類/カイガラムシ類幼虫 ：幼虫の発生初期	カイガラムシの 心化幼虫発生時期に散布											
みかん/ゴマダラカミキリ ：産卵最盛期直前	散布適期											
りんご(収穫30日前まで)/ゴマダラカミキリ ：産卵最盛期直前	散布適期											
ぶどう(発芽前(休眠期))/ブドウカミキリ ：①休眠期初期 ②発芽前(いずれか1回)	散布適期											
もも(収穫60日前まで)/クビアカツヤカミキリ /コスカシバ:産卵期～幼虫食入初期	散布適期											
ネクタリン(収穫後～発芽前)/コスカシバ ：産卵期～幼虫食入初期	散布適期											
桑/カミキリムシ類、クワシロカイガラムシ幼虫 ：夏切直後(桑が発芽する前)	散布適期											
/クワヒメゾウムシ成虫、カミキリムシ類幼虫、 クワシロカイガラムシ:脱ぼう前(桑が発芽する前)	散布適期											
時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

散布適期の目安を表しています。

⚠ 効果薬害等の注意


- 散布液は使用前によくかきまぜ、調製液は当日中に使いきるようにしてください。
- 散布時に周辺の作物に薬液が付着すると薬害の出るおそれがあるので、薬液が飛散してかからないように十分注意して散布してください。
- ボルドー液、石灰硫黄合剤などのアルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 桑に使用する場合、新芽や葉にかかると薬害を生じるので春季脱ぼう前又は夏切直後、桑が発芽するまでに散布してください。
- クワシロカイガラムシに使用する場合、成虫を対象とした春季脱ぼう前では50倍液を散布し、夏切後に使用する場合はクワシロカイガラムシが幼虫のうちに時期を失せず100倍液を散布してください。
- クワヒメゾウムシに使用する場合、成虫には有効であるが食入幼虫にはほとんど効果が得られないので、発生状況に注意し、散布適期を間違えないようにしてください。
- もも及びネクタリンのコスカシバに対して使用する場合、産卵防止及び食入防止を主体に産卵期～幼虫食入初期に樹幹部及び主枝に十分に散布してください。
- みかんのゴマダラカミキリ防除に使用する場合、6～7月の産卵最盛期直前が適期であり発生に応じて1～2回散布してください。施設内のみかんには使用しないでください。
- 散布の際、散布液がりんご及びももの葉にかかると薬害を生ずるので薬液がかからないように注意して散布してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法をあやまらないよう注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。**取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。(刺激性)
- 皮膚に付着しないように注意してください。皮ふに付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。(刺激性)
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を替えてください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で散布する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- ミツバチに対して下記に注意してください。
 - ・巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ・ミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 水源地、養殖池、池、河川、水槽などに飛散、流入しないよう十分注意してください。(甲殻類)
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 自動車の塗装面に散布液がかからないようにしてください(塗装汚染)。
解毒剤・・・硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤
- ★体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
- ★火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤で消火に努めてください。
- ★漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
- ★移送取扱いは、ていねいに行ってください。

保管・・・密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光のあたらない冷涼な所。かぎをかける。盗難・紛失の際は警察に届け出る。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器等は現場などに放置せず、適切に処理してください。

製造 販売元  株式会社 理研グリーン

〒110-8520 東京都台東区東上野4丁目8-1 TIXTOWER UENO 8階
TEL 03-6802-8571 FAX 03-6802-8577 <http://www.rikengreen.co.jp>

札幌駐在 TEL011(595)7401 FAX011(595)7402
仙台支店 TEL022(222)9599 FAX022(267)6505
東京支店 TEL03(6802)8943 FAX03(6802)8953
静岡支店 TEL054(283)0691 FAX054(291)4261
名古屋支店 TEL052(218)3060 FAX052(218)3061
大阪支店 TEL06(6871)1691 FAX06(6871)1811
福岡営業所 TEL・FAX:大阪支店にて代行受付
グリーン研究所 TEL0538(58)1282 FAX0538(58)1714